

園内包む、2万株の香り 村山・東沢バラ公園

2022/6/14 10:28



見頃を迎え、甘い香りに包まれている東沢バラ公園＝村山市

村山市の東沢バラ公園で色とりどりのバラが見頃を迎え、園内が甘い香りに包まれている。市が命名権を持っていた新品種も、名称がウクライナ語で平和を意味する「マイア」と決まり、園内はにぎわいをみせている。

広さ約 7 ヘクタールの同公園には約 750 品種、2 万株が植えられており、園内では日本ばら会（東京）が育てた苗木の販売も行われている。大半の品種が満開となっており、赤や白、黄色などに彩られ、多くの来園者が訪れている。

同公園は日本ばら会から栽培ノウハウを学び、見応えのあるバラ園を目指してきた。交流を縁に同会から新品種が贈呈されることになり、侵攻を受けたウクライナの平和を願って「マイア」と命名した。オレンジがかったピンクの花で、バラ交流館前に 18 株が植栽されている。現在は数輪が咲いている。

12 日にはバラまつり 2022 記念式典が行われ、日本ばら会の小林幸子理事長が「世界各地でバラが咲いている一方、戦争など悲惨なことが起きている。皆さんと一緒に世界平和を祈ろう」とあいさつ。アトラクションで楯岡小合唱部が美しい歌声を披露した。まつりは 7 月 3 日まで。